

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	高山市立荘川中学校		
実 施 期 間	平成26年10月13日(月)～11月12日(水)		
実 施 概 要	○ふるさと荘川の郷土の行事に関連する学習 ①荘川の伝統芸能の獅子舞、笠踊り、お囃子を習得する。 ②4年に一度の「ひねり踊り」に参加するため、地域の方から指導してもらい練習する。 ③文化祭や研究公表会で、郷土芸能を披露する。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約50人	計 約100人
	地域関係者	約50人	
実 施 状 況	○ふるさと荘川の「ふるさと祭り」と「ひねり踊り」という地域の一大行事に積極的に関わった活動 ・獅子舞、笠踊り、お囃子等、地域の伝統芸能を、地域の指導者に教えてもらった。その後仲間同士で高め合う事が出来た。 ・今年は1年生が19人と多いため、先輩が後輩に指導したり、仲間同士の練習会を設け、熱心に取り組んだ。 ・文化祭や研究公表会で、郷土芸能を地域住民にも披露し、多くの方に見てもらえることが出来た。 ・中学生全員が4年に一度の「ひねり踊り」に獅子舞、お囃子として参加し、約7,000人の地域住民や観光客の前で堂々と披露した。 ・生徒の心には「荘川の伝統芸能を自分達で引き継いでいきたい。」という思いが強くなった。(生徒アンケートから)		
成果及び課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・ふるさとを愛する気持ちの醸成・・・地域の方から伝統芸能を教わり、習得した技を披露することにより、ふるさと荘川の良さを感じ、ふるさとを愛する気持ちをもたせることができた。・目標をもちやり方を工夫する力・・・練習でどのようにしたら上手く踊れるか、自分達で聞き合ったり、見合ったりしながら練習を工夫し、互いに高め合う事が出来た。・最後までやりぬく力・・・伝統芸能を繰り返し練習し、その成果を大勢の前で発揮することで、最後までやりぬく力を身に付けることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・地域教材をもっと開発し、生徒自身が課題をもち問題解決できるような学習も開発すること。(2学期後半より)		